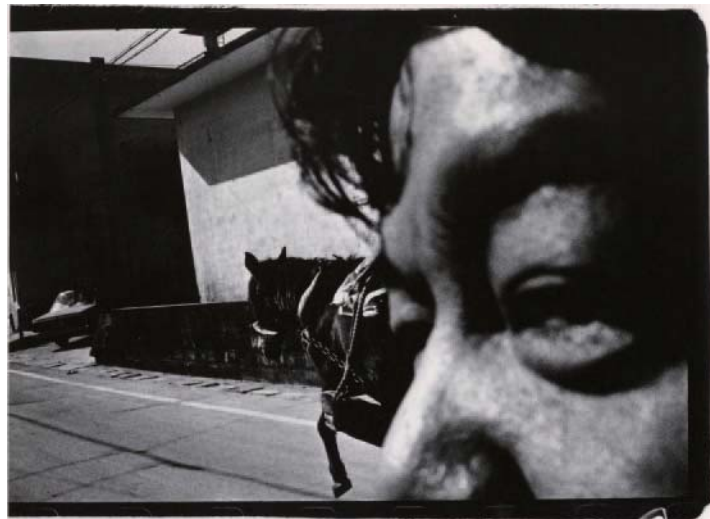




鈴木清写真展 百の階梯、千の来歴

Suzuki Kiyoshi : Hundred Steps and Thousand Stories



2010年10月29日(金)－12月19日(日)

東京国立近代美術館

- 重層的な「書物」としての写真集づくりで、今日世界的に注目される鈴木清(1943-2000)の仕事の本格的に紹介する、国内では初の展覧会
- 〈流れの歌〉や〈天幕の街〉、〈夢の走り〉など8つのシリーズで構成
- 写真集のダミーや個展会場の手描き図面など、鈴木独特の手作業を通じた創作のプロセスを示す貴重な資料も展示

展覧会名	鈴木清写真展 百の階梯、千の来歴 Suzuki Kiyoshi : Hundred Steps and Thousand Stories
会期	2010年10月29日(金) - 12月19日(日)
開館時間	午前10時から午後5時まで 金曜日は午後8時まで (入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館ギャラリー4 (2階)
アクセス	東京メトロ東西線 竹橋駅 1b出口より徒歩3分 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
観覧料 (所蔵作品展を含む)	一般420 (210) 円 / 大学生130 (70) 円 * ()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 *高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 *入館当日に限り、所蔵作品展「近代日本の美術」もご観覧いただけます。 *無料観覧日: 11月3日(水・文化の日)、11月7日(日)、12月5日(日)
お問合せ	03-5777-8600 (ハローダイヤル)
HP	http://www.momat.go.jp
記者内見会	2010年10月28日(木) 16:00~17:30 (16:45~記者発表を予定)
イベント	講演会、ギャラリートーク等を準備中。チラシ、HP等でお知らせします。
同時開催	「麻生三郎展」 企画展ギャラリー(1階) 11月9日(火) - 12月19日(日) 所蔵作品展「近代日本の美術」所蔵品ギャラリー (4-2階) 10月23日(土) - 12月19日(日)
次回展覧会	「『日本画』の前衛 1938-1949」 企画展ギャラリー(1階) 2011年1月8日(土) - 2月13日(日) 「栄木正敏展」 ギャラリー4 (2階) 2011年1月8日(土) - 2月13日(日)
プレゼント	いずれの展覧会も、記事を掲載していただける場合は「読者プレゼント」用に招待券をお渡しできます。枚数は応相談。希望される方は、ご連絡ください。

お問合せ先

イメージ貸出・取材申し込み ⇒ 企画展室

展覧会内容 ⇒ 「鈴木清展」担当学芸員

TEL : 03-3214-2561 (代表) / FAX : 03-3214-2576

e-mail : pr@momat.go.jp

鈴木清写真展 百の階梯、千の来歴

Suzuki Kiyoshi : Hundred Steps and Thousand Stories

開催趣旨

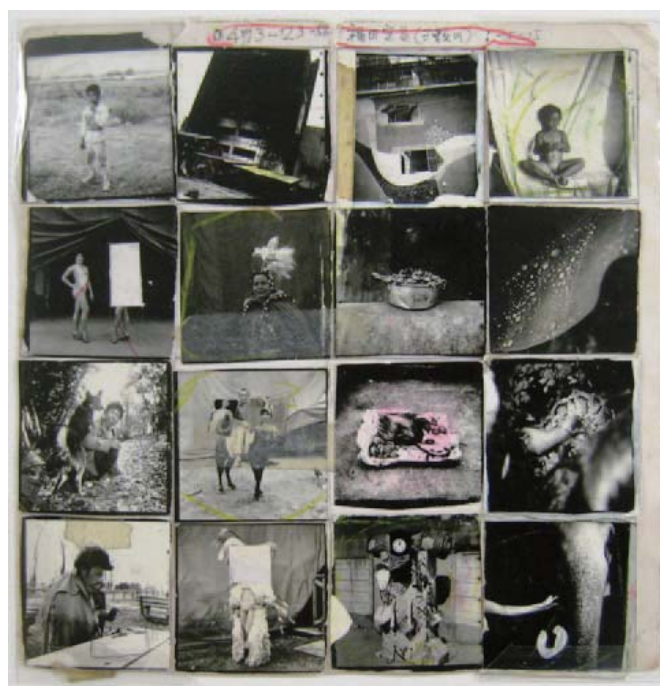
電子書籍の時代が到来したといわれる今日でも、大きさや重さ、手触りを備えた紙の束としての「書物」は、色褪せるところか、むしろその魅力と存在感を増しているようにさえ思えます。書籍にさきがけてデジタル化の波に洗われた写真の世界においても、「書物」、すなわち写真集という表現媒体は、近年いっそう注目されています。

写真家 鈴木清（1943－2000）の作品を顧みるうえでも「書物」は重要なキーワードです。読書家であり、愛読書から得たインスピレーションをしばしば自らの写真の指針としたということだけでなく、彼自身の写真集が、いずれも「書物」と呼ぶにふさわしいものだったからです。

最初の写真集『流れの歌』（1972年）以降、早すぎる死を迎えるまでに、彼は全部で8冊の写真集を発表しますが、1冊を除いていずれも自費出版で、編集やデザインも多くの部分を自ら手がけました。最終的なかたちが定まるまでに、いつも鈴木は何冊ものダミーを制作し、試行錯誤を重ねたのです。

炭鉱という自らの出自に関わる場や、同時代の社会、旅の時間や文学作品などをモチーフに、眼の前の現実と夢や記憶が自在に交錯する、重層的な作品世界が展開された鈴木の写真集は、まさに繰り返し読み込まれるべき「書物」としての奥行きを獲得しています。

今回の展覧会では、写真集と同様、入念に構成されていた鈴木の個展におけるインスタレーションも参照しつつ、〈天幕の街〉（1982年）、〈夢の走り〉（1988年）、〈修羅の圏〉（1994年）などの代表作を中心に、その仕事を紹介します。



③ 〈天幕の街〉コラージュ 1982年頃

展覧会のみどころ

■8冊の写真集をめぐって

鈴木清の写真家活動の重要な柱が、自費による出版を重ねた写真集づくりでした。3冊目の『天幕の街』(1982)では造本を当時新進のデザイナーだった鈴木一誌に依頼。それまでの2冊にくらべはるかに複雑な構成を持つこの写真集以降、鈴木の写真集は独特の密度と奥行きを獲得していきます。

今回の展覧会では、8冊の写真集それぞれからの作品を紹介するとともに、写真集どうしの連関や、シリーズを越えて共通するモチーフなどにも注目し、鈴木清の作品世界の全体像を探ります。

■手の思考—

写真集のダミーと展示のためのスケッチ

鈴木清の写真集をめぐって注目されるのは、手作りされたダミーの存在です。一冊の写真集の構成を練るために、コピーや校正刷りを素材に、カッターや糊をつかって作られたダミーは、鈴木にとってのデザインや編集のプロセスが、文字通り手作業によって進められていたことを示しています。個展の会場構成のスケッチにも共通する、綿密な手作業。今回の展覧会では、鈴木清の写真家活動の重要な部分を占める、「手の思考」のプロセスを生き生きと伝える、写真集のダミーや展示構成のためのスケッチにも注目します。

(出品予定点数 約180点)



④〈天幕の街〉より 1982年



⑤〈デュラスの領土〉より 1997年



⑥ 写真集『デュラスの領土』のためのダミー 1998年頃



⑦ 個展(「デュラスの領土1」)のためのスケッチ 1996年

作家略歴

- 1943年 福島県いわき市生まれ
- 1965年 漫画家を志し上京。
- 1969年 東京総合写真専門学校卒業。同年から翌年にかけて、『カメラ毎日』に「シリーズ・炭鉱の町」を発表、写真家として出発。以降、看板描きを生業とし、写真家活動を展開。
- 1972年 写真集『流れの歌』刊行。
- 1976年 写真集『ブラーマンの光』刊行。
- 1982年 写真集『天幕の街』刊行、翌年同書および同題の個展により第33回日本写真協会賞新人賞受賞。
- 1985年 東京総合写真専門学校の講師に就任。
- 1988年 写真集『夢の走り』刊行、翌年第1回写真の会賞受賞。
- 1991年 写真集『愚者の船』刊行（IPC刊、唯一自費出版ではない写真集）
- 1992年 個展「母の涙」により第17回伊奈信男賞受賞。
写真集『天地劇場』刊行。
- 1994年 写真集『修羅の圏』刊行、翌年同書および同題の個展により第14回土門拳賞受賞。
- 1998年 写真集『デュラスの領土』刊行。
- 2000年 3月死去、10月に遺された展覧会プランにより個展「千の来歴」開催。
- 2008年 オランダ、フローニンゲンのノールトリヒトギャラリーで個展「Soul and Soul」が開催される。



⑧〈私の12冊〉より 1983年

【復刻版】鈴木清写真集『流れの歌』 白水社より10月27日刊行予定

写真家デビューとなった炭鉱をめぐるシリーズを中心に「60年代の日本原風景を私的にとらえた」最初の写真集『流れの歌』が復刻版として出版されます。本展カタログのデザインも担当するブックデザイナー鈴木一誌氏のアートディレクションにより、1972年刊のオリジナルを忠実に再現する待望の復刻版。展覧会とも連携した出版記念イベントの開催を予定しています。

【復刻版】『流れの歌』についてのお問い合わせは、
白水社・鈴木美登里（編集部 03-3291-7821）まで



To: 東京国立近代美術館 広報担当行 (FAX: 03-3214-2576)

申込書 「鈴木清写真展 百の階梯、千の来歴」

御依頼者氏名 _____ 貴社名 _____

御住所 〒 _____

TEL: _____ (内線 _____) FAX: _____

email: _____

出版物・放送番組名: _____

発行・放送予定日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ : _____ ~ _____ :

プレス内見会 申込	
<input type="checkbox"/>	参加します
<input type="checkbox"/>	会場撮影を希望します 人数: _____ 人 駐車場使用(車種/ナンバー): _____ 撮影機材(照明はUVカット、熱吸収の仕様が条件となります): _____

広報用写真 申込	
①	〈流れの歌〉より 1971年
②	〈夢の走り〉より 1983年
③	〈天幕の街〉コラージュ 1982年頃
④	〈天幕の街〉より 1982年
⑤	〈デュラスの領土〉より 1997年
⑥	写真集『デュラスの領土』のためのダミー 1998年頃
⑦	個展(「デュラスの領土1」)のためのスケッチ 1996年
⑧	〈私の12冊〉より 1983年
	読者プレゼント用招待券 _____ 組 _____ 名 (_____ 枚)

プレス・イメージ貸出条件

1. 写真は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。
 2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
 3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。
 4. 作品写真は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
 5. 写真を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
 6. 掲載紙(誌)は、1冊、企画展室宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。
- *画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。
*掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

<報道関係のお問合せ> 東京国立近代美術館 企画課 企画展室
〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1 TEL: 03-3214-2561 (代表) / FAX: 03-3214-2576